

ABE KOGYO

施工説明書

施工業者様用

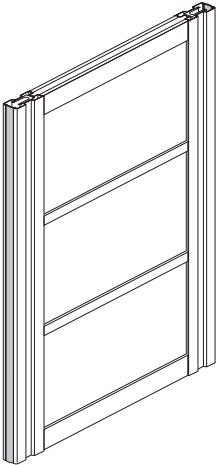



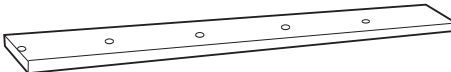
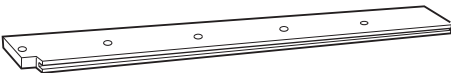
シルエットスクリーン【ハンガータイプ】

片引・引違 (3本引・4本引共通) ・引込・引分

このたびは、ABE KOGYO製品をご利用いただき、誠にありがとうございます。

⚠ 施工にあたってのご注意

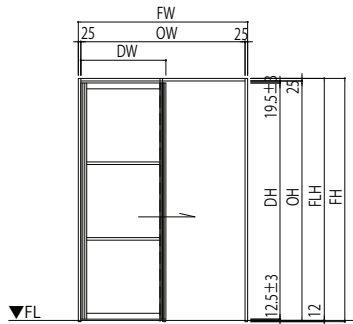
- この施工説明書をよくお読みになり、正しく取付けてください。誤った取付けをしますと、人身事故や家財の損害が発生する恐れがあります。
- 商品に破損や異常がないか、付属品の不足はないかをご確認ください。万一商品に破損や異常があった場合、また付属品の不備があった場合は、販売店または阿部興業株式会社までご連絡ください。
- 照明灯などの熱により、表面化粧が冒される場合があるので、熱源は 1 m以上離して作業してください。

扉梱包 (扉本体)				枠梱包								
片引	引違 2本 引込 引分	3本 引違	4本 引違		片引	引違	4本引違	3本引違	2本引込	引分		
1	2	3	4		上枠 (レール込)	1	1	1	1	1	 (図は引違用です)	
					縦枠	1	2	2	2	1	—	
					フィラー定規	1	2	2	2	1	—	
					戸当枠	1	—	—	—	1	2	
					方立枠	1	—	—	—	1	2	

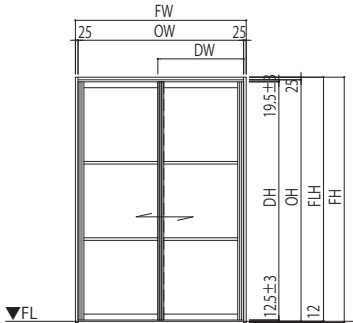
スタンダード (固定枠)		
サイズ	FW	H
片引・引違	1649	2357
2本引込	2452	
3本引違	2420	
4本引違	3248	
引分	3312	

納まり図

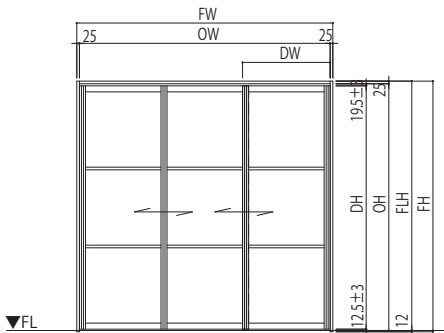
片 引



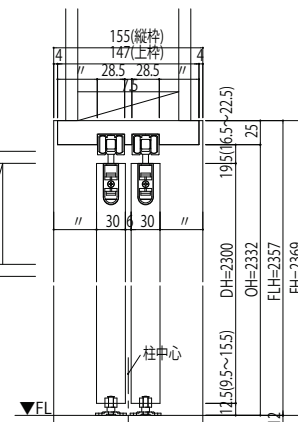
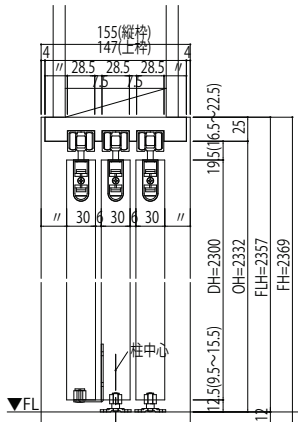
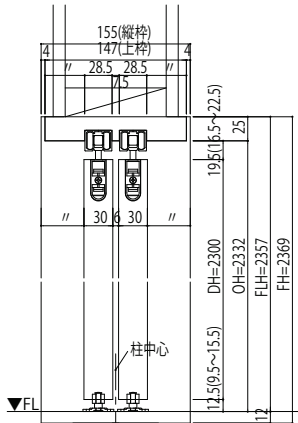
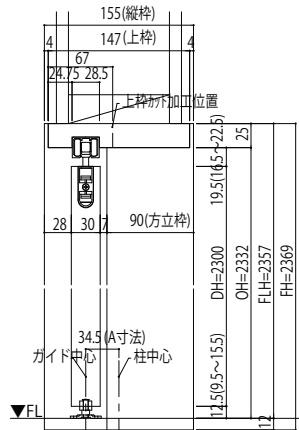
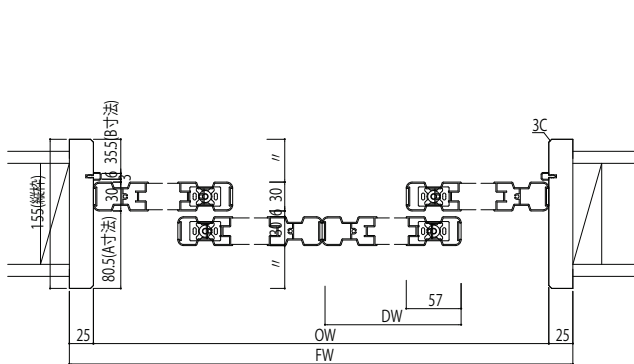
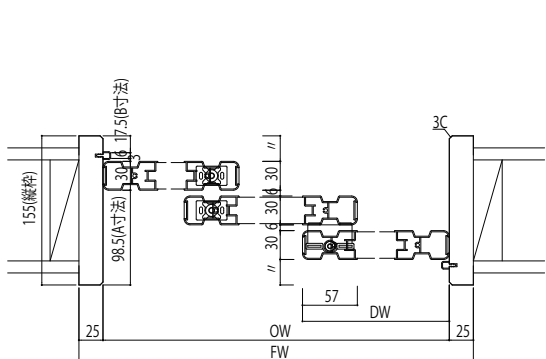
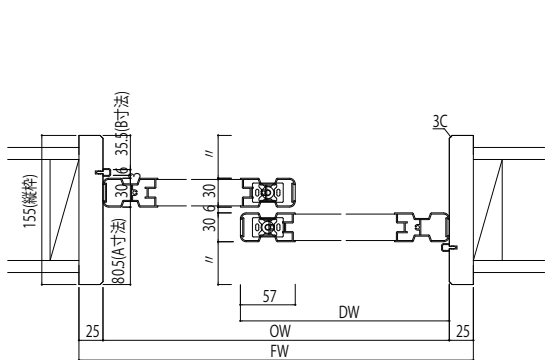
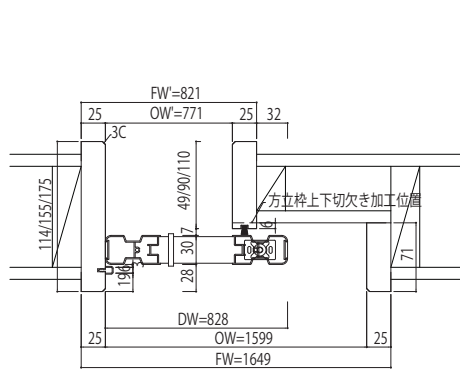
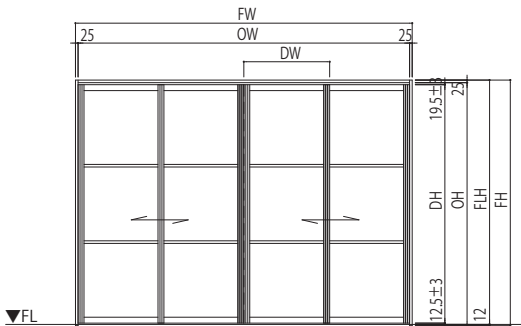
引 違



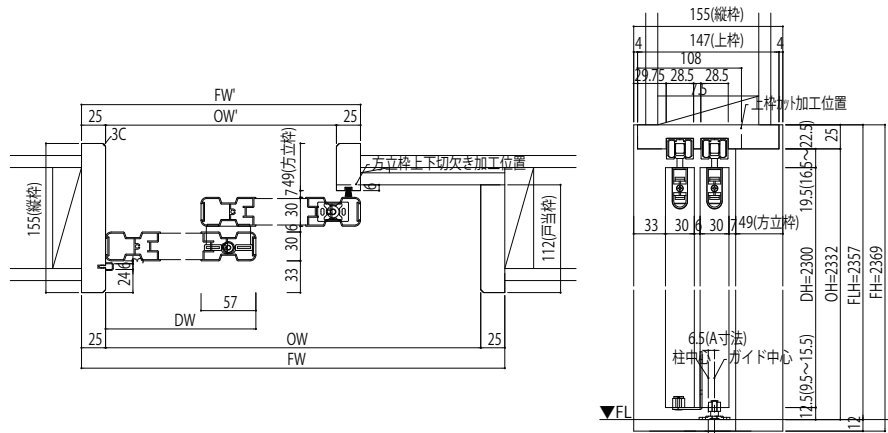
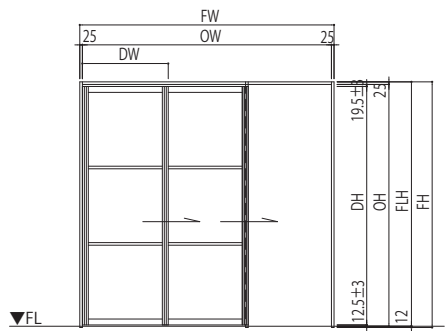
3本引違



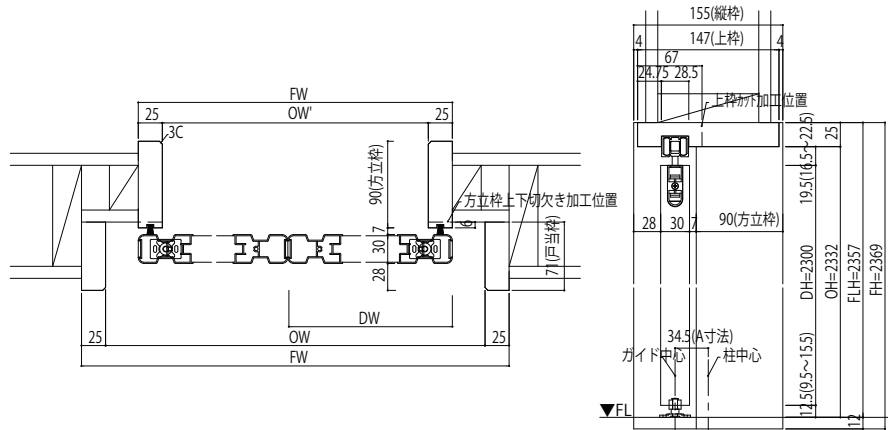
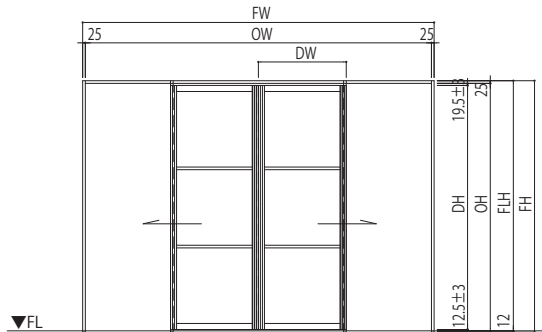
4本引違



2本引込



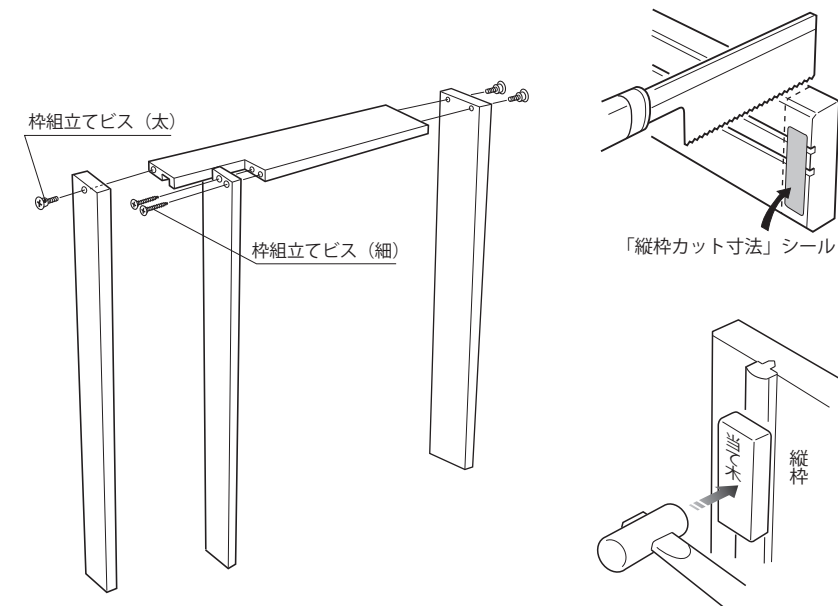
引分



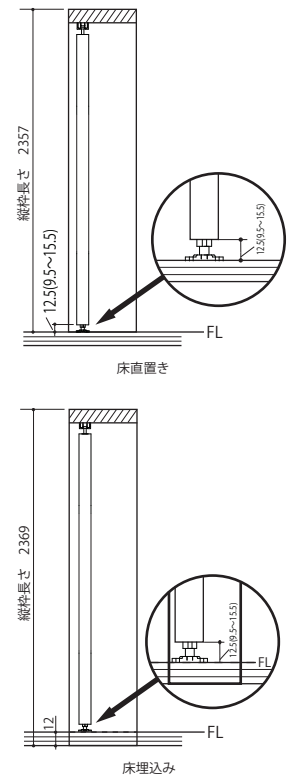
取付け順

1. 枠の組立て

- ①縦枠は、長めに設定してあります。「縦枠カット寸法」シールを参考に、ご希望の現場施工に合わせて下端をカットしてください。
- ②フィラー定木は縦枠の溝に接着剤を入れ、当て木などを添えて打ち込みます。
- ③縦枠及び戸当枠と上枠を、組立てビス(太)で締付けてください。
- ④方立枠は、枠組立てビス(細)で固定してください。



＜ハンガー用縦枠カット寸法＞



2. 枠の取付け

- ①開口部の水平・垂直を確認してください。
- ②躯体取付けビスとRD調整ビスを使って、枠を取付けてください。

注意

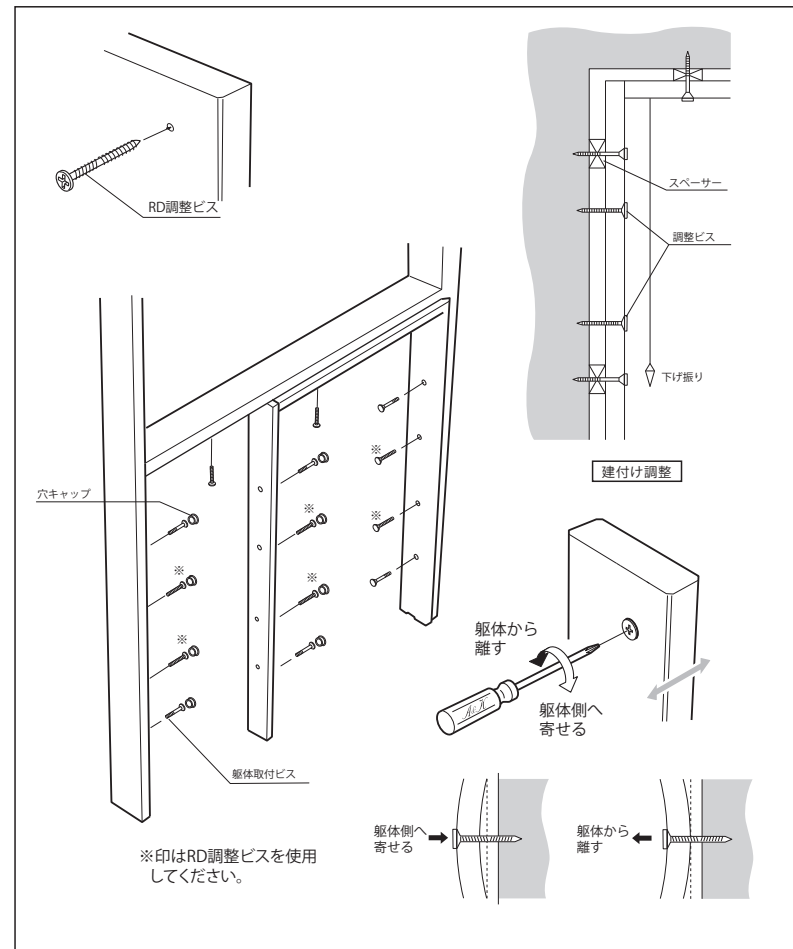
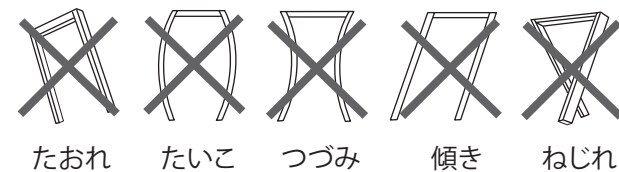
吊下げ式なので、上枠は垂れ下がらないよう、しっかり固定してください。

- ③RD調整ビスの使い方
 - RD調整ビスは、枠の固定と調整を兼用するビスです。
 - RD調整ビスで、枠の下穴より躯体に取付けてください。(プラスドライバー使用)
 - 下げ振りなどで建付けを確認しながら、プラスドライバーでビスを回して調整してください。

注意

RD調整ビスによる調整は、必ずボードを貼る前に行ってください。

- ④固定の後、方立枠や戸当枠の取付け穴に穴キャップを挿入してください。



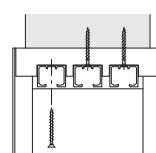
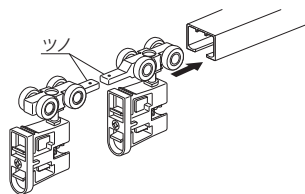
部品梱包	吊り車	ストッパー	ガイドピン(ビス付)	連動金具(ボルト付)	振れ止め金具 (マグネット) (受板)	ビスキャップ (φ13)
片引	2	2	1	—	1	12
引違	4	4	2	—	2	8
3本引違	6	5	2	1	2	8
4本引違	8	8	4	—	4	8
2本引込	4	3	1	1	1	12
引分	4	4	2	—	—	16

部品梱包	RD調整ビス46 (4.5×47mm)	躯体取付けビス (4.2×62mm)	枠組立てビス(細) (3.4×50mm)	枠組立てビス(太) (7.0×50mm)
片引	6	6	2	4
引違	4	10	—	4
3本引違	4	13	—	4
4本引違	4	12	—	4
2本引込	6	12	2	4
引分	8	12	4	4

3. 部品の取付け

【上レール・ストッパーの取付】

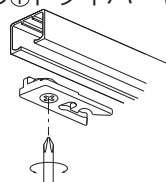
- ①吊ローラーを下図のように、ツノを内側にして上レールに入れ、上レールを同梱の上レール取付ビスで鴨居に取り付けてください。



注意

吊ローラーの向きをご確認の上、上レールに入れてください。向きを間違えると扉が閉まりません。

- ②ストッパーは、扉を閉めた際にタテ枠に当たる箇所に取付けます。取付位置を納まり図でご確認ください。ストッパーを上レールに差し込み、タテ枠にぶつけた状態で手回しのドライバーにて固定してください。



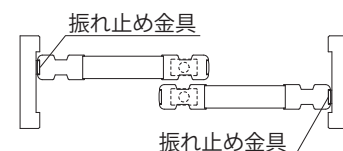
【振れ止め金具の取付】

注意

スチロールは傷付きやすいため、取り扱いには十分ご注意ください。表面保護フィルムは建築完了まで剥がさないでください。

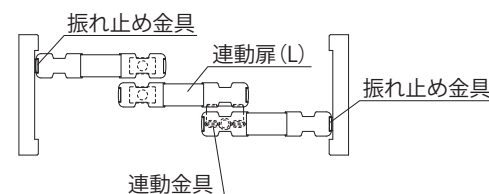
- ①位置出し
下図をご参照の上、床面の取付け位置に印を付けてください。

■引き違い戸

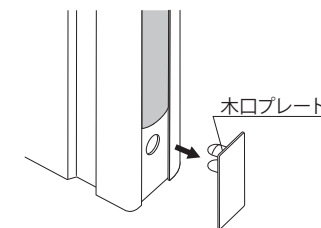


■3本引き戸 (扉幅:828mm例)

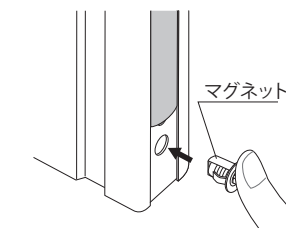
向かって左側に有効開口1535
右側に有効開口764の場合。



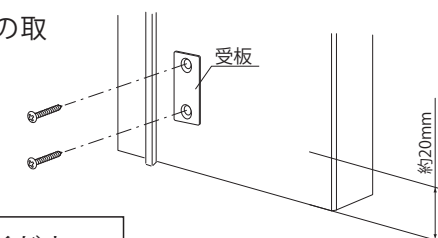
- ②振れ止め金具を取り付ける箇所の木口プレートを取り外してください。



- ③扉木口下側の穴(φ12)にマグネットを差し込み、指で奥まで押し込んでください。



- ④枠側にマグネットの高さに合わせ、受板を同梱の取付ビスで取付けてください。



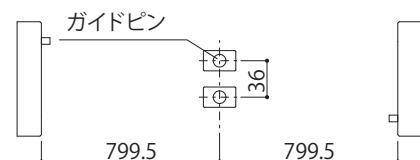
注意

振れ止め金具は取付箇所をよくご確認ください。いったん取り付けると外すことができません。

【ガイドピンの取付】(扉幅:828mm例)

- ①位置出し
下図をご参照の上、床面の取付け位置に印を付けてください。

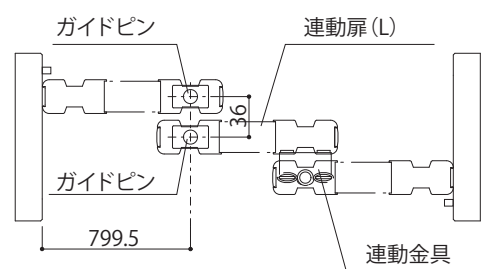
■引き違い枠



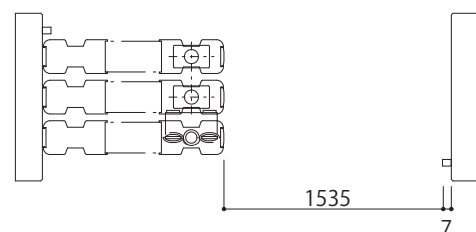
■3本引違い戸

※ガイドピンの取付位置により、下図のように開閉の仕方が変わります。

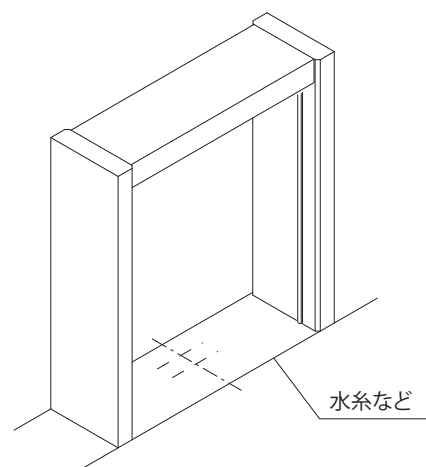
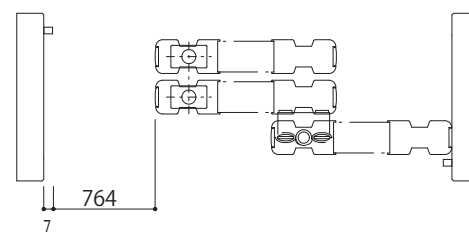
●扉を閉めた状態



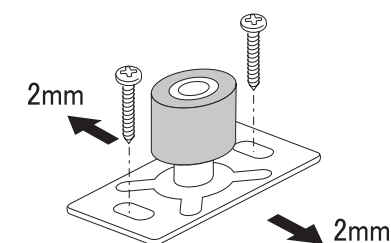
●扉を左側に寄せた状態



●扉を右側に寄せた状態



- ②ガイドピン取付
印の位置に同梱の取付ビスで固定します。

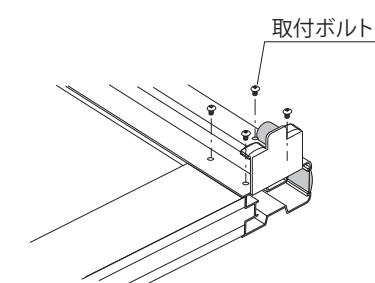
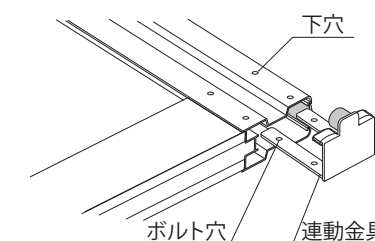


【連動金具の取付】

●吊りタイプの場合

連動金具は連動扉のタテフレーム下部にある下穴に取り付けます。

- ①連動金具を扉下側から下図の向きで扉下穴と連動金具のボルト穴が合うように差し込みます。
②同梱の取付ボルトで固定します。



4. 扉の吊り込み

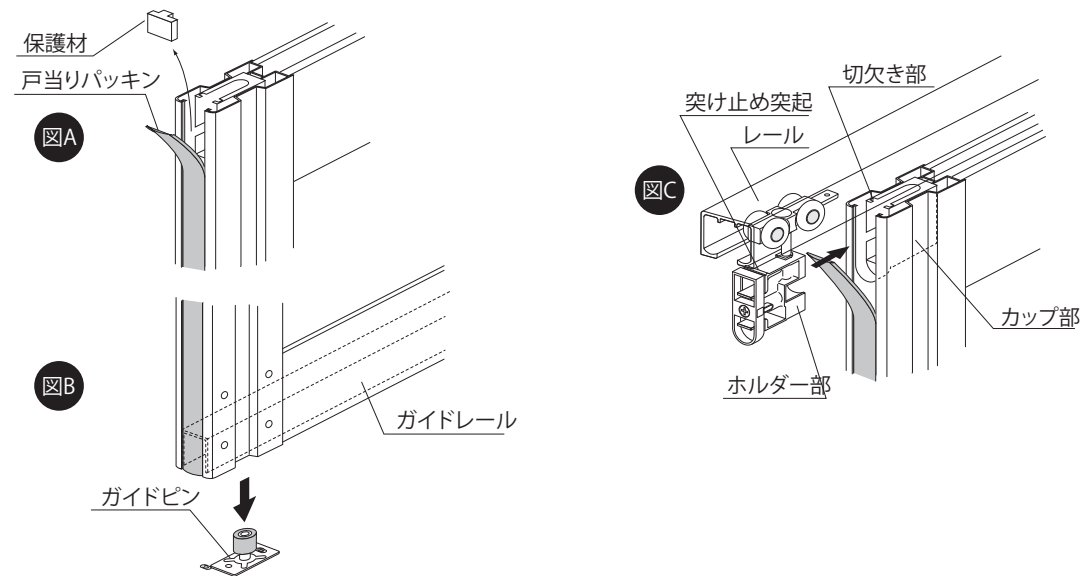
注意

扉を吊り込む際、又は外す際は床面を十分に養生してから行ってください。
養生材は、扉の角を押し付けても破損しないものを用いてください。床面を傷つけるおそれがあります。

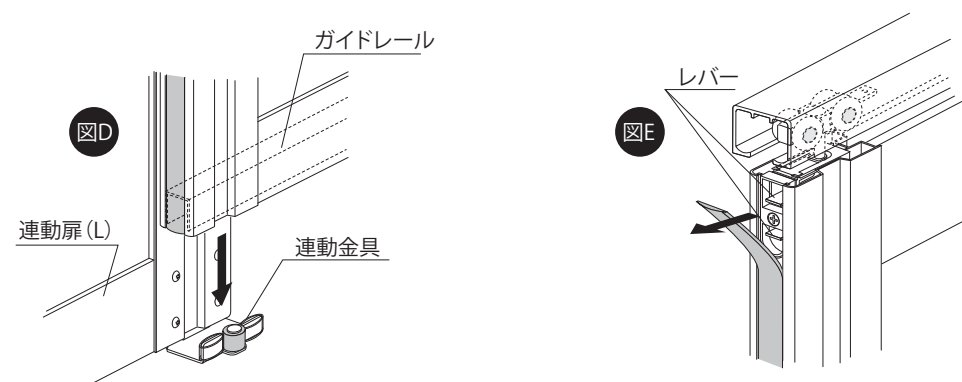
- ①扉木口上部の戸当りパッキンをめくり、中の保護材を取り除いてください(図A)。
- ②ガイドピンに扉下木口のガイドレールをはめた後(図B)、扉のカップ部に吊ローラーのホルダー部を差し込みます。この際、ホルダー部の抜け止め突起部がカップの切欠き部にしっかりとはまると、パチンという音がしますので、必ずご確認ください(図C)。

注意

ホルダー突起部とカップ切抜き部が確実にハマっていることをご確認ください。
確実にハマっていないと扉が脱落するおそれがあります。



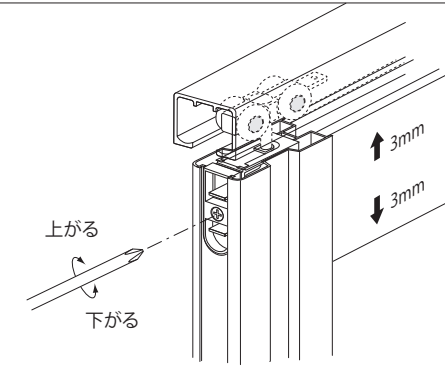
- ③外した戸当りパッキンをはめてください。
- ④連動扉の吊り込みは〔1〕連動扉〔2〕連動される扉の順序で行ってください。
連動扉の次の扉を吊り込む際は、連動金具に扉下木口のガイドレールをはめた後(図D)扉のカップから吊ローラーのホルダー部を差し込んでください。
- ⑤吊り込んだ扉を外す場合は、吊ローラーのホルダー部レバーをつまんで、ホルダー部を扉のカップから引き出してください(図E)。



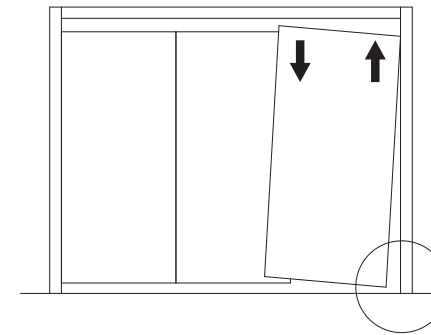
5. 調整方法

○扉の調整

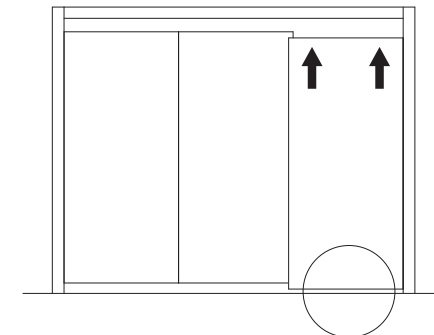
戸当たりパッキンをめくり、手回しの
⊕ドライバーで上下調整ねじを回し扉の
上下調整をしてください。



○扉が右に傾いてる場合
右側を上げ、左側を下げてください。



○扉下部がこすってる場合
左右ともに上げてください。



注意

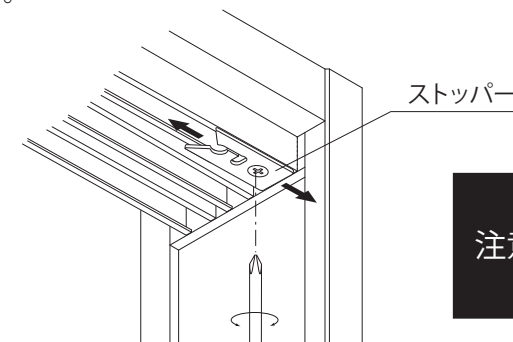
扉が傾いていると振れ止め金具が
機能しません。
扉とタテ枠が平行になるように調整
してください。

注意

鴨居が垂れており、かつ上下調整を
下げすぎると、扉下部がガイドピンなどに
こするおそれがあります。
この際は上方向に調整してください。

○振れ止め調整

扉を閉めた際、振れ止め金具と
マグネット受けがくっつくと同時に
キャッチが掛かるようにストッパー
のビスを緩め、位置を調整し、
固定してください。



注意

振れ止めが機能しないと扉を
閉めた際も扉が前後に揺れること
があります。